



インダストリアルデザイン研究室

Industrial Design Lab.

三浦 慎司

MIURA, Shinji / Assistant Professor

Sequel 廃棄コスメに与える新たな物語

Sequel: A new story for discarded cosmetics

毎年約2万トン以上のコスメが製造から販売・消費までの過程で廃棄されている。消費では嗜好の変化や使用期限切れによる使い残しが発生原因の一つとされている。

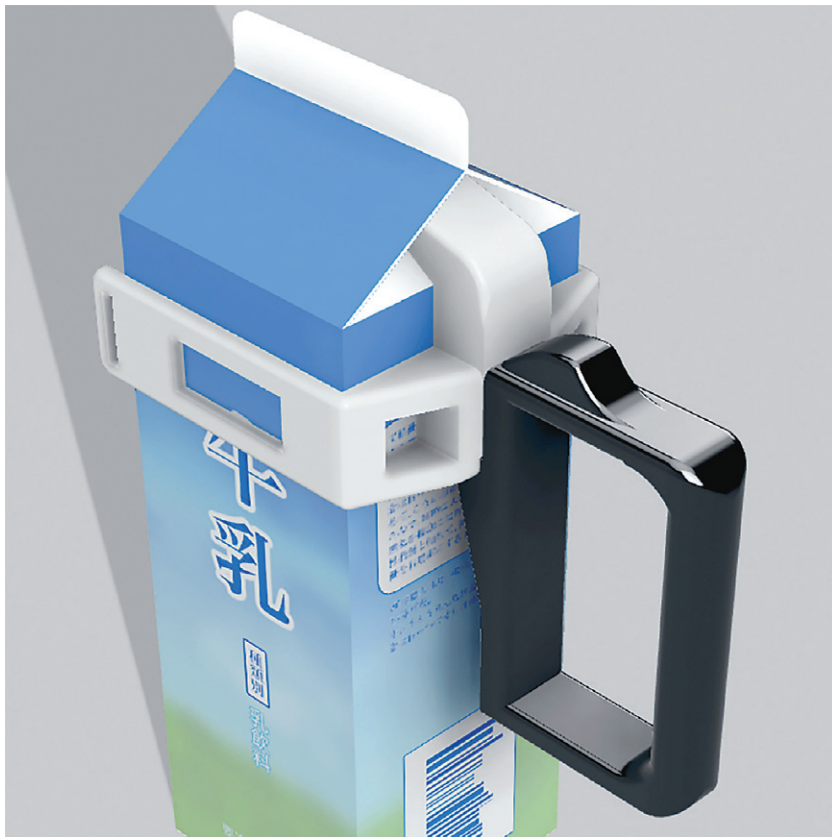
このような使い切ることなく捨てられたり、主に消費過程で廃棄されるコスメを塗装に用いて「Sequel」というアクセサリを展開する。廃棄コスメを減らすことを試みたアップサイクルの取り組みである。消費者が愛着を持ち使っていたコスメを違った形で楽しむ消費サイクルの一商品として提案する。



荷方 陽菜
NIKATA, Hina

ゲートルップ型紙パックを扱いやすくする補助具の提案

A proposal for an aid that makes it easier to handle gable-top paper cartons



あなたは日常で何気なく使っているが使いづらいと思うものは無いだろうか。紙パックの牛乳を注ぎにくそうにしている祖母の姿を見て、私は紙パック（ゲートルップ型）を扱いやすくするための補助具を制作した。

紙パックを開けるには口をつまみ開く際に力を必要とし、なおかつ正確な動作で開けなければ注ぎ口を綺麗に開けることはできない。また紙パックは注ぎ入れる際に持ち上げる必要があるが持ち手ががないため握力が弱いと落としてしまうことがある。これらの問題点を解決する補助具を提案する。



朝比奈 秀叡

ASAHINA, Shuei

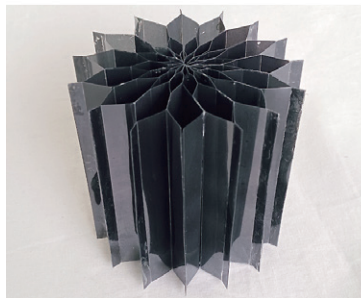
Insta stand 自転車撮影に困らないプロダクトの提案

Insta stand: A suggestion for products that make it easy to take pictures of bicycles

軽量化と空気抵抗を抑えることが求められるロードバイクでは、一般的な自転車と異なり駐輪のためのスタンドを装着することは少ない。しかし出先での駐輪の際車体を立て掛けたり、地面に寝かせることが困難な状況に直面することがある。そこでポータブルタイプのロードバイク用スタンドを提案する。

このスタンドは主に、臨時での駐輪と旅先での写真撮影に役立つ。自転車ツーリングでは、愛車との思い出として旅先でしばしば記念撮影を行うことがあるが、スタンドを持たないため自立させることができず、撮影場所が限定されてしまう。そういった時にこのプロダクトを使用することにより旅先で自由な撮影が行えるようになる。

また自転車ツーリングではできるだけ物を持って行かないことが好まれるため、軽量さと薄さ、雨にも強い点を重視しPVCシートを使用した。このプロダクトは、閉じた時にサイクル用ジャージのポケット幅に収納できるサイズでデザインした。



高田 裕二郎
TAKATA, Yujiro

子育て卒業後を見据えた店舗兼住宅の提案

A proposal for a store and residence for post-childcare family life



子育てを終え解放感を味わうとともに、ライフスタイルの大きな変化により強い喪失感に襲われる、空の巣症候群になるケースがある。そのような悩みを解決すべく第2の人生プランとして、一軒家を改築した店舗兼住宅を提案する。

そこで、身近である母親をモデルに考えることにした。母親の子育て後の夢でもあったオーダーメイドの服屋さんを併設することにした。また、世界では衣類の大量廃棄が問題となっている。そこで地域との関わりと環境問題に配慮すべく新品だけでなく、リペアなども請け負い、教室も開けるお店とした。

外装は、お店を目立たせるために家部分と工房部分の色を分け、店舗内を外から見えるようにし、店舗を大きくし服作りを学んでもらったりできるようにした。

今回は服屋として考えたがそれぞれにあった形を築いていき、第二の人生を豊かなものにできればと思う。

鳥居 遥人
TORII, Haruto



継なく 段階的リノベーションプラン

Tsunagu: A phased renovation plan

いずれ母が受け継ぐこととなる新興住宅地に建てられた工業化住宅である祖父母の家は、母が戻り住むことを躊躇う点の一部があるため、リノベーションが必要である。またヒアリングから、祖父母宅のある地域との交流が疎遠となっている現状が、母にとって新しい暮らしをはじめるとを困難に感じさせているようにも見られた。

そこで、祖父母の家を母の家に変えていくリノベーションを段階的に進めることで、母が過ごしやすい家へと少しずつ作り変えながら、その過程で祖父母のもつ地域との繋がりを母が受け継ぐことを考えた。

住宅だけでなく地域との繋がりを継承することまで計画した、段階的リノベーションプランを提案する。



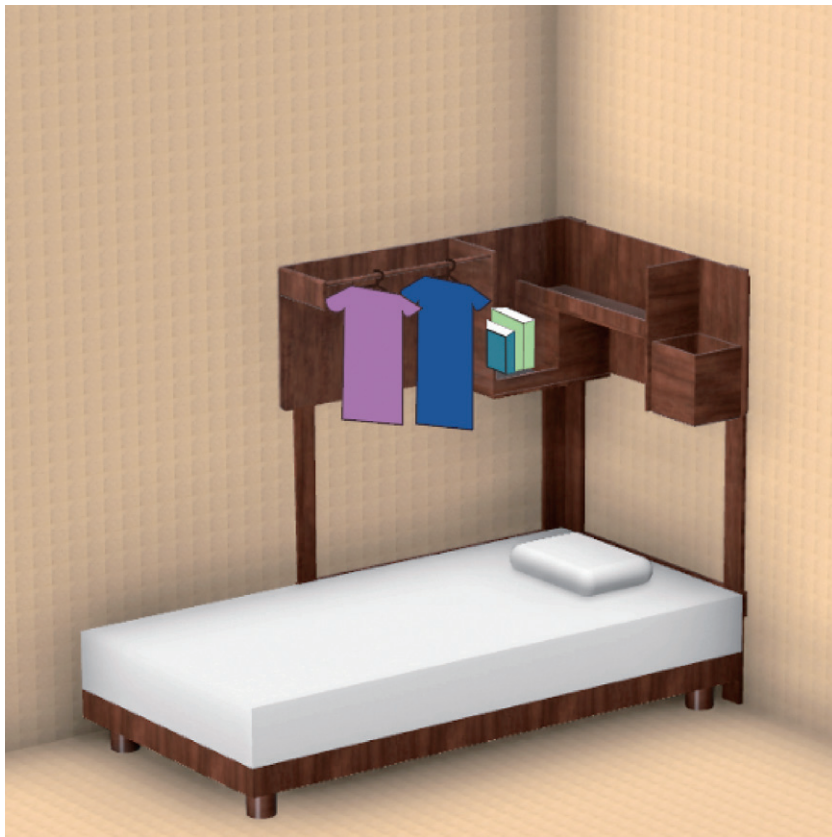
中山 良輔

NAKAYAMA, Ryosuke



ベッドの上空間を活用した一人暮らし用家具の提案

A proposal of furniture for living alone that utilizes a space above the bed



一人暮らしの部屋はスペースに限りがあり、家具やモノを置く場所が少ない。

下宿生や一人住まいの生活を調べた結果、一人暮らしの人は家で過ごす時間の多くをベッド上で過ごしていることが分かった。

そこで私は、一人暮らしの人に向けたベッドの上の空間を活用した家具を提案する。

この家具はベッドの上の空間に棚やゴミ箱、服をかけるためのハンガーポールなどを三次元的に空間配置している。普段使わないベッドの上の空間を活用することでスペースの有効活用に繋がり、一人暮らしの人が家で大半を過ごすベッドでの暮らしがより快適になることが期待できる。

リラックスできるように素材は木材を使用した。また頭の上にある家具なので、安全性に配慮し設計・制作した。

橋本 悠平
HASHIMOTO, Yuhei



シーンと音に+αするスマホスピーカー「sumasupi」

sumasupi: A smartphone speaker that adds extra to the scene and sound

スマートフォンの発展に伴い、その利用の仕方は多岐に渡りスマートフォンの音だけを聞く状況も増えてきている。しかし、付属のスピーカーでは十分な音量や音質が確保できない場合がある他、既存のスマホスピーカーでは利用シーンや使い方が同じものが多く、利用シーンの増加に反してスマホスピーカーの選択肢が少なく感じる。そこで、様々なシーンに合わせて音量を大きくするスマホスピーカー「sumasupi」を提案する。

「sumasupi」は利用シーンに合わせて、コンパクトに畳めることを重視し、持ち運びに特化した「pokesupi」、風呂場の壁を利用し、より良い入浴をサポートする事に特化した「hurosupi」、操作の際に倒れない自立安定性を重視し、動画を視聴しながらの作業に特化した「mubisupi」の3種の製品で構成される。これらのスマホスピーカーによる+αの音と体験により、日々のスマートフォンの生活体験をより豊かにする。



sumasupi
～シーンと音に+αするスマホスピーカー～



福浦 啓志郎

FUKUURA, Keishiro



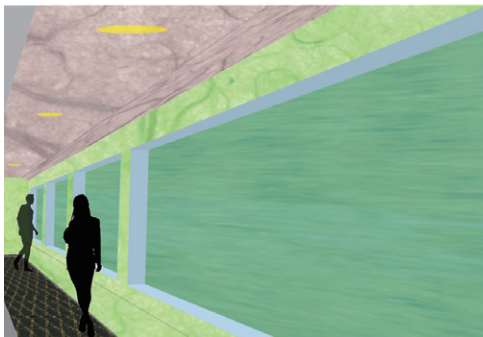
観光列車「かいか」 関西本線加茂亀山間の再興にむけた列車の提案

Sightseeing train “Kaika”: A proposal of a train for the revitalization of Kamo-Kameyama section, the Kansai Main Line



赤字路線の増加による廃線への協議が全国的に後を絶えない。地域の重要なインフラである鉄道は、沿線住民の生活のためにも廃止させないことが望まれる。地域の交通手段を守るために、私は観光による沿線の活性化で路線を維持することを目指した観光列車をデザインした。

対象区間として近畿圏内にいくつかある赤字路線や区間のうち、関西本線の加茂～亀山間を取り上げる。この区間は関西本線屈指の渓谷区間でありながら認知度が低く、沿線の魅力を掘り起こすことで遠方からの観光需要が生まれ、観光列車を走らせることで沿線を活性化できると考えた。車両は定期運用を失った既存の客車をベースにデザインした。沿線外から訪問する観光客に加え地域住民の利用を両立する車両とその運用方法を提案する。



藤井 心哉

FUJII, Shinya



あったらいいなこんな自助具

I wish I had this kind of self-help tool

歳をとると若い時にできていたことができなくなるとされ、そういった高齢者の細かな苦勞を取り除く、無数の自助具が必要だと考えました。その中でもあったらいいなと思われる少しマニアックな自助具たちを提案します。

片手で割り箸を割れる道具やコロコロに取り付けるリモコンホルダーなど、どれも最初は「なんだこれ」と疑問を持つと思いますが、普段気づかない日常生活でのちょっとした苦勞に役立つモノになっています。

これらは全てWEBサイトから入手し、3Dプリンターで制作することを想定していて、それぞれの家庭に合わせて調節しプリントすることも考慮しています。あなたの身近にいる高齢者の方のお困りごとにもこの自助具を試してみてください。

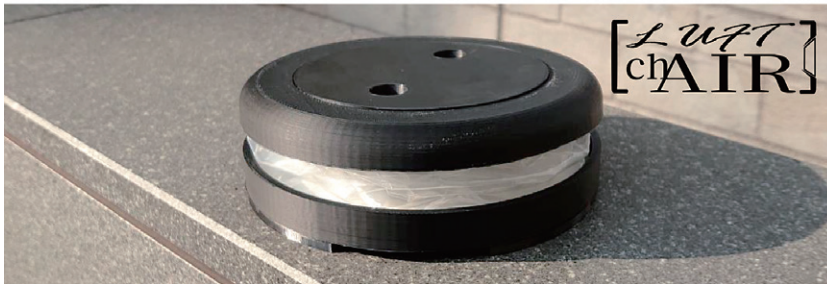


山田 凌大

YAMADA, Ryota

LUFT chAIR 空気に座る

LUFT chAIR: sit in the air



待ち合わせや電車での移動中、行列の待ち時間等ふとした瞬間に腰を下ろしたくなった経験はないだろうか。そのようなときに私は簡易的に座れる椅子があれば便利だと常々考えてきた。既存の製品には安全面に欠けるものやそれなりの重量があるものなど、まだまだ検討の余地がある。

このLUFT chAIRは使用する際、ポリエチレンの袋の口を広げ充填させた空間に蓋をすることで、空気(LUFT, Air)にその場で瞬時に座れる簡易的な椅子(chair)である。製品の大部分を空気にすることで軽量かつ鞆に入れて持ち運びやすいサイズに設計した。使用する際には難しい操作は必要なく年齢に関わず安全に使うことができる。

吉田 圭汰
YOSHIDA, Keita

